

メモリアルデー特別集会のための
メッセージアウトライン

主題：
クリスチャン生活

標語：

わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることには
ただ一つの目的があることを認識する必要があります。

それは、神の命がわたしたちを通して解放され、
わたしたちの中で表現されることです。

どうかわたしたちの外なる人がそのような程度にまで砕かれて、
内なる人が解放され、表現されることができますように。
これが尊いことであり、これが主のしもべの道です。

主の中に住むことは、彼と一つ霊になることであり、
効力のある祈りは、わたしたちが主の中に住み、
主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果です。

わたしたちが命の流れとしてのキリストを享受することは、
わたしたちが種まく者、植える者、水を注ぐ者、
生む者、養う者、建造する者となり、
命を供給して、神の驚くべき有機的な建造、
すなわち神の壮大な家のためであることです。

わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、
鏡のように見つめ、そして反映して、
栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられつつあります。

メッセージ 1

クリスチャン生活の内在的な意義

聖書：ヨハネ 14:21, 23. II コリント 2:10. 4:6-7

- I. クリスチャン生活は、キリストを生きる生活です。わたしたちの生きることはキリストであるべきであり、キリストを生きる道はキリストを愛することです——ピリピ 1:19-21 前半. ガラテヤ 2:20 :
- A. わたしたちはキリストを極みまで愛することによって、キリストを生きることができます。わたしたちはキリストを愛さないなら、キリストを生きることはできません。キリストを愛することは、わたしたちの全存在を彼の上に集中させる最上の道です——II コリント 5:14. I ヨハネ 4:19. ピリピ 1:19-21 前半. マルコ 12:30. 啓 2:4-5. ヨハネ 14:21, 23. 21:15-17. I ペテロ 1:8. I コリント 2:9. 16:22。
- B. 神を愛するとは、わたしたちの全存在を、すなわち、霊、魂、体を、心、魂、思い、力と共に（マルコ 12:30）、完全に彼の上に置くことです。これは、わたしたちの全存在を彼に占有していただき、わたしたちの全存在が彼の中で失われることです。その結果、彼がわたしたちのすべてとなられ、わたしたちは日常生活の中で、実際的に彼と一になります。
- C. わたしたちが彼を愛するとき、「その霊はすべての事柄、神の深みさえも探られます（I コリント 2:10）。「探る」というギリシャ語は、積極的な探求を意味し、発見によってではなく、探し求めて得られた正確な知識を暗示します。神の霊は、キリストに関する神の深みを探し求めます。そしてそれらを、わたしたちの霊の中でわたしたちに示し、認識させ、あずからせます。
- D. クリスチャン生活をするとは、神の御子イエスを愛することです。それによってわたしたちは、御父と御子によって愛され、御子がわたしたちに現れることと、御父と御子がわたしたちに訪れて、わたしたちと共に相互の住まいを造ってくださることを享受します——ヨハネ 14:21, 23。
- E. クリスチャン生活は、わたしたちの愛としての神ご自身をもって神を愛し、互いに愛し合う生活です。キリストはかつてこの世において、神が愛である生活をしました。そして彼は今やわたしたちの命です。それによって、わたしたちはこの世において同じ愛の生活をし、彼の失われた者を捜し求め罪人を救う務めの行程において、彼であるのと同じになります——I ヨハネ 4:16-19. ルカ 10:25-37. 19:10. エペソ 4:20-21. 参照、ガラテヤ 5:13-15。
- II. クリスチャン生活をするとは、キリストのパーソンの中で、すなわち、キリストの御顔の中で、すべての事を行なうことです——II コリント 2:10. 4:6-7 :
- A. 「パーソン」を指すギリシャ語は、文字どおりには「御顔」です。第4章6節も同じです。それは目の周りの部分を指しています。表情は内側の思想や感覚の表示であって、その人全体を表明し、現します。
- B. 使徒パウロは、信者たちにとって模範であり（I テモテ 1:16）、キリストの目の中で表現された彼のパーソン全体の表示にしたがって、キリストの臨在の中で生

き、行動しました。

- C. わたしたちの心が主に向く時はいつも、おおいにわたしたちの心から取り除かれ、わたしたちはおおいのない顔をもって、栄光の主を見つめることができます。実は、わたしたちのそらされた心がおおいです。おおいのない顔は、おおいのない心であって、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を見つめます——Ⅱコリント 3:16, 18. 4:6-7. サムエル上 16:7. エペソ 1:18 前半。
- D. 神の栄光は、キリストの御顔にあります。彼の御顔、彼のパーソンは、わたしたちの霊の中に内住する宝です——Ⅱコリント 4:6-7. I ペテロ 3:4。
- E. わたしたちは、価値のない、もろい土の器ですが、わたしたちの霊の中には極めて価値のある宝、すなわち、キリストご自身の御顔、キリストご自身のパーソンがあります（Ⅱコリント 2:10, 4:6）。全宇宙において、イエスの御顔を見つめることほど尊いことはありません（創 32:30. 出 25:30, 33:11, 14. 詩 27:4, 8. 啓 22:4）：
1. わたしたちは彼の臨在の中に生き、彼の存在の表示を見るときはじめて、彼がわたしたちにとってそのような宝であると感じます。わたしたちに問題があるなら、わたしたちはただ彼に告げる必要があります。彼はわたしたちの内側におられ、わたしたちと顔と顔を合わせています——ピリピ 4:6。
 2. 神を見ることは神を得ることに等しいのです。それは神の要素をわたしたちの中へと受け入れて、わたしたちを造り変えていただくことです（ヨブ 42:5-6. マタイ 5:8）。今日わたしたちが見ている神は、究極的に完成された霊です。わたしたちは霊の中で彼を見て、神の豊富をわたしたちの存在の中へと吸収し、日ごとに神聖な造り変えの下にすることができます（Ⅱコリント 3:18 後半. マタイ 14:22-23. コロサイ 4:2）。
- F. わたしたちは霊の中で心を主に向け、顔と顔を合わせて彼を見つめ、他の人たちの中へと彼の光を放つとき（イザヤ 60:1, 5）、わたしたちは彼の栄光のかたちへと造り変えられる過程の中にあり、その日に至って、「わたしたちは彼のように（なります）……。なぜなら、わたしたちは、彼がそうであるように、彼を見るからです」——Ⅱコリント 3:18-4:1. I ヨハネ 3:2. 啓 22:4。

Ⅲ. クリスマン生活をするとは、召されたわたしたちが、その召しにふさわしく歩くことです——エペソ 4:1-4：

- A. 神の召しにふさわしく歩くことの第一の項目は、わたしたちが神聖な属性によって、また神聖な属性をもって強められた、造り変えられた人性の美德をもって、キリストのからだの実際であるその霊の一を保つことを熱心に努めることです——エペソ 4:1-4：
1. 栄光が現されたイエスの霊の中には、イエスの造り変えられた人性があります。一つからだのために一つ霊から飲んで流し出すことは、人なるイエスの霊から飲んで流し出すこと、すなわち、へりくだり、柔和、忍耐という、神性によって豊かにされた人性の美德から飲んで流し出して、愛の中で互いに担い合うことです——ヨハネ 7:37-39 前半. I コリント 12:13. 使徒 16:7. エペソ 4:2-3。
 2. わたしたちが主の御名を呼び求め、主から養いを得るなら、人としてのイエス

を享受し、彼の引き上げられた人性のすべての美德は、イエスの霊の中でわたしたちのものとなります。それによってわたしたちは実際の霊の中で回復された召会生活を実行します。そして実際の霊はキリストのからだの実際です——
I コリント 1:2. 10:3-4, 17. 12:3 後半, 13. 16:13. エペソ 4:3-4 前半。

B. 神の召しにふさわしく歩くことの第二の項目は、わたしたちがすべての事にかしらであるキリストの中へと成長し込むことです——エペソ 4:15-16 :

1. わたしたちはすべての事でキリストの中へと成長し込んで、キリストのからだを建造するために、キリストを、すべてを含む宇宙的な置き換えとして享受し、一人の新しい人を生み出す必要があります。ですから、わたしたちは「彼に聞き、「イエスだけ」を見なければなりません——マルコ 9:7-8。
2. キリストでない事物や人は何であれ、神は「解雇」します。神は彼の旧約エコノミーにおけるあらゆるものをキリストに置き換えました——1:1-8. マタイ 17:3-5. コロサイ 2:16-17. ヘブル 10:5-10. 11:5-6. 参照、イザヤ 22:20-25。
3. 神はわたしたちを創造したとき、わたしたちを「雇用」しました。神はわたしたちを十字架につけ、キリストと共にわたしたちを十字架に釘づけたとき、わたしたちを「解雇」しました。神はわたしたちをキリストと共に復活させたとき、わたしたちを神・人という新しい種族、神の団体的な傑作としての神の新しい発明とすることによって、わたしたちを「再雇用」し、神の当初の意図へとわたしたちを戻しました。それはわたしたちを創造し、神の栄光を現し、神の団体的な表現を得ることでした——創 1:26. ガラテヤ 2:20. エペソ 2:6, 10, 15. イザヤ 43:7。

C. 神の召しにふさわしく歩くことの第三の項目は、わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことです——エペソ 4:20-24 :

1. 「イエスにあるあの実際」は、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています。イエスは神の中で、神と共に、神のためにすべてを行なう生活をしました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした——20-21 節。
2. 彼は四福音書において啓示されているように、地上での彼の生活において模範を設立しました。それから彼は十字架につけられ、復活させられて命を与える霊と成りました。それは彼がわたしたちの中へと入ってわたしたちの命となるためでした。わたしたちが彼から学ぶのは、彼の模範にしたがってであり、わたしたちの天然の命によってではなく、復活におけるわたしたちの命としての彼によってです——I コリント 15:45 後半. コロサイ 3:4。
3. わたしたちは主を愛し、主と接触し、主に祈るとき、福音書で描写されている鋳型、形、模範にしたがって自動的に彼を生きます。こうして、わたしたちはこの鋳型のかたちに形づくられ、同形化されます。これが、キリストを学ぶことが意味することです——マタイ 11:29. ローマ 8:29。

D. 神の召しにふさわしく歩くことの第四の項目は、わたしたちが愛と光の中で生きることです——エペソ 5:2, 8 :

1. わたしたちは神聖な性質にあずかる者、神聖な性質を享受する者となる必要が

あります（Ⅱペテロ 1:4）。神聖な性質は、神が何であるかです。すなわち、神は霊であり（ヨハネ 4:24）、神は愛であり（Ⅰヨハネ 4:8, 16）、神は光です（1:5）。霊は神のパーソンの性質であり、愛は神の本質の性質であり、光は神の表現の性質です。

2. わたしたちはみな主との個人的な時間を十分に費やして、わたしたちの霊の中で主とひそかに交わる必要があります。それによってわたしたちは、主の愛の本質で満たされて、主にわたしたちを通して他の人たちを牧養していただくことができます。またそれによってわたしたちは主の輝く要素で満たされて、他の人たちにわたしたちの中の主を見せることができます——ヨハネ 4:24. ルカ 15:20. マタイ 5:15-16。

E. 神の召しにふさわしく歩くことの第五の項目は、わたしたちが霊の中で満たされてキリストをあふれ流すことによって生きることです——エペソ 5:18：

1. 神に語ること、歌うこと、朗詠すること、神に感謝をささげること、キリストを畏れつつ互いに服従し合うことは、霊の中で満たされることの流れ出であるだけでなく、霊の中で満たされるための道でもあります——19-21 節。

2. 霊の中で満たされることは、キリストの豊富で満たされてキリストの豊満、キリストのあふれ流れとなることです。わたしたちは主を呼び求め、主の御言を祈り読みすることによって、主を恵みの上にさらに恵みとして絶えず受けて、主の豊満、主のあふれ流れとなることができます——3:8. 1:23. 3:19 後半. ローマ 10:12-13. エペソ 6:17-18. ヨハネ 1:16。

IV. クリスマン生活をするのは、聖霊の管理を受け入れることです：

A. 神が願っているのは、わたしたちが聖霊の管理を受け入れること、すなわち、神がわたしたちを器から器へあけて、わたしたちの天然の外なる人の澱、くずを取り除くことによって、わたしたちの味を取り除き、わたしたちの香りを変えることであって、ついにわたしたちがキリストの純粋な味を持ち、キリストの純粋な香りを醸し出すに至るということです——エレミヤ 48:11. Ⅱコリント 2:14-15. 雅 4:16. 列王下 4:8-9：

1. 「霊の父」は試練と懲らしめを通してわたしたちを取り扱います。それは「わたしたちが彼の聖にあずかる」ためです——ヘブル 12:4-13。

2. 試練と懲らしめを経過したことがない者たちは、器から器へあけられたことはありません。こういうわけで、彼らの天然の個性、外なる人、自己から出て来る澱、くず、沈殿物の味は、彼らの内側に残ったままであり、彼らの香りは変わっていないのです——エレミヤ 48:11. ローマ 8:28-29. 雅 4:16。

B. マリアは非常に高価で純粋なナルドの膏油一リトラが入った石膏の壺を持っていました。彼女がその壺を砕き、それを主の上に注ぎ出したとき、「その家は、膏油の香りで満たされ」ました——ヨハネ 12:2-3. マルコ 14:3. 参照、雅 1:12。

C. 石膏の壺はわたしたちの外なる人を表徴します。それは砕かれる必要があります、それによって内なる人が出て来ることができます。主はとても多くの異なる面において、わたしたちの中で、またわたしたちの上で働きます。その目的は、土の器、石膏の壺、外なる殻を砕くためです——Ⅱコリント 4:7. ヨハネ 12:3, 24. ローマ

マ 8:28-29。

- D. わたしたちの天然の存在は何の意味もありません。その霊がわたしたちの存在の中へと構成し込んだものだけが勘定されます。聖霊の管理は、わたしたちの天然の性情と習慣を破壊し、聖霊の構成をもたらして、わたしたちを円熟と甘さにもたらしめます。神はわたしたちの環境におけるあらゆるものを案配して、わたしたちの天然の存在を取り壊します。それによって彼はわたしたちの中で新しい性情、新しい性格、新しい属性を形成します——ヨハネ 3:6. II コリント 5:17. ガラテヤ 6:15。
- E. 砕かれることができない二つの主要な原因があります：
1. ある人が砕かれていないのは、彼が暗やみの中で生きているからです。彼は自分に対して起こるすべての事において、すべてを他の人々や環境のせいにして、彼には啓示がなく、神の御手を見ておらず、神が彼を対処している方であるということを見ていません——参照、ヨブ 10:13. エペソ 3:9。
 2. ある人が砕かれていないのは、彼があまりにも自分自身を愛しているからです。わたしたちは神にわたしたちから自己愛を取り除いてくださるように求めなければなりません。すべての誤解と不満にはただ一つの原因があります。それは隠れた自己愛です。
- F. わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることにはただ一つの目的があることを認識する必要があります。それは、神の命がわたしたちを通して解放され、わたしたちの中で表現されることです。どうかわたしたちの外なる人がそのような程度にまで砕かれて、内なる人が解放され、表現されることができますように。これが尊いことであり、これが主のしもべの道です——ヨハネ 12:24-26. II コリント 4:12。

外なる人が砕かれて、その霊が解放され、神が表現されることに関する交わり

わたしたちは、なぜ神がわたしたちをこの世に置かれたのかを知らなければなりません。神はわたしたちをこの世に置かれました。それは、わたしたちの存在が、罪人や信者や世人に、義に対する飢え渴きを起こさせるためです。わたしたちが働く時、わたしたちは他の人たちの内側に飢えを起こさせなければなりません。わたしたちの存在によって他の人たちに神を追い求めさせるような不思議な新鮮さ、力、食物、供給が、わたしたちの内側になければなりません。他の人たちがわたしたちに会い、話をした結果、神を求める願いを持つようになるべきです。もしわたしたちが他の人たちにいつも会い、交流していながら、神を求める願いを彼らの内側に起こすことがなければ、わたしたちは失敗しているのです。もしわたしたちが聖書を読み、祈り、仕え、福音を宣べ伝えても、人の内側に強い空腹感を生み出すことがなければ、わたしたちの働きは失敗しているのです。(ニー全集、第42巻、第31編)

列王紀下第4章には、シュネムの女がエリシャをもてなす話があります。聖書は次のように記しています、「ある日、エリシャがシュネムを通っていると、そこに一人の裕福な婦人がいて、彼に食事をするようしきりに勧めた。そこで彼は通るたびに、そこに寄って

食事をしていた。彼女は夫に言った、『いつもわたしたちの所を通るこの人は聖なる神の人であることを、わたしは知りました』」（8-9 節）。エリシャはシュネムを通りました。彼は、メッセージの一つもせず、奇跡の一つも起こりませんでした。彼はそこを通りかかるたびごとに、そこに寄って、食事をしました。シュネムの女は、エリシャの食事の仕方から、エリシャを神の人であると見なしました。これがエリシャが他の人たちに与えた印象です。

今日、わたしたちは自分に問わなければなりません、「わたしたちはどんな印象を他の人たちに与えているのだろうか？ わたしたちからどんなものが出て来ているのだろうか？」。外なる人は砕かれなければならないことを、わたしたちは繰り返し述べてきました。外なる人が砕かれていなければ、他の人たちがわたしたちから受ける印象は、外なる人にほかなりません。わたしたちは他の人に接触する度に、わたしたちが自己を愛している人であるとか、頑固な人であるとか、高ぶっている人であるといった、好ましくない感覚を与えるかもしれません。あるいは、わたしたちは利口で非常に雄弁であるという印象を与えるかもしれません。多分、わたしたちは、いわゆる良い印象を他の人に与えるかもしれません。しかし、この印象は神を満足させるでしょうか？ それは召会の必要に間に合うでしょうか？ 神は満足されません。そして、召会はわたしたちのいわゆる良い印象を必要としません。

……外なる人が砕かれなければ、わたしたちの霊は解放されません。そして、わたしたちが他の人たちに与える印象は、霊の印象ではなくなります。

……他の人たちに印象を与えるものは、わたしたちが自分の中に持っている最も強い部分です。（二一全集、第 54 卷、「外なる人が砕かれて霊が解放される（霊の解放）」、第 8 編）

